

報道関係各位

自販機ビジネスにおけるカーボンニュートラルをめざす 脱炭素社会への貢献に向けた「CO₂排出削減目標」を策定 ～業務変革・パートナーシップ推進・従業員参画により排出削減を強化～

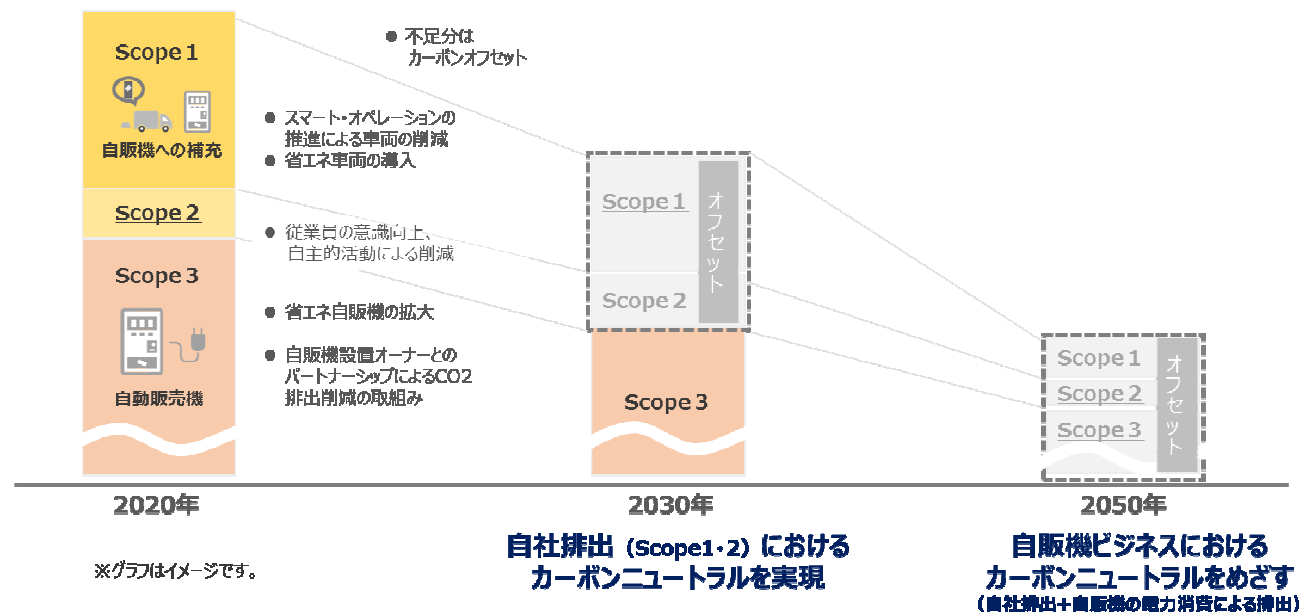
ダイドードリンク株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：中島孝徳）は、脱炭素社会への貢献に向けた「CO₂排出削減目標」を策定いたしました。

当社は、「人と、社会と、共に喜び、共に栄える。その実現のために DyDo グループはダイナミックにチャレンジを続ける。」のグループ理念のもと、事業を通じた持続可能な社会の実現を目指しております。この度、2030年のありたい姿を示す「グループミッション2030」の実現に向けた重要課題（マテリアリティ）を特定したことに合わせて、脱炭素社会への貢献に向けたダイドードリンクの「CO₂排出削減目標」を以下の通り決めました。

<ダイドードリンクのCO₂排出削減目標>

- ・2030年までに、自社排出（Scope 1・2）※1におけるカーボンニュートラルを実現
- ・2050年までに、自販機ビジネスにおけるカーボンニュートラルをめざす
（自社排出+自販機の電力消費による排出※2）

<CO₂排出削減のイメージ>



※1: ダイドードリンク株式会社、ダイドービバレッジサービス株式会社、ダイドービジネスサービス株式会社

※2: ダイドービバレッジサービス株式会社によるオペレーション自販機のCO₂排出量（Scope3）

<CO₂ 排出削減に向けた取り組み>

当社は、2022年1月21日からスタートする「中期経営計画 2026」において、CO₂ 排出削減目標の達成に向けた主な取り組みとして、「スマート・オペレーションの推進による車両の削減」「省エネ車両の導入」「自販機設置オーナーとのパートナーシップによる CO₂ 排出削減の取り組み」「省エネ自販機の拡大」「従業員の意識向上と自主的活動の推進」を展開してまいります。業務プロセスの変革やパートナーシップの推進・従業員の参画により CO₂ 削減に向けた取り組みを強化することで、企業の持続的成長と持続的社会的実現するサステナビリティ経営を加速させてまいります。

引き続き、当社は、事業を通じた環境への貢献、社会市民として果たすべき環境への取り組みを従業員一人ひとりの自主的な行動と、共感いただける様々なステークホルダーとのパートナーシップを推進していくことで、SDGs のめざす持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

本報道資料に関するお問い合わせ先

ダイドードリンコ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当：正本

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー18F

TEL：06-6222-2621 FAX：06-6222-2623